



## 【目標達成に向けて今こそスタートの時】 ～ 学習習慣の見直しと弱点の克服を！ ～

部活動の大会も一段落し、定期考査Ⅰも終わって、今はクラス一丸となって「湖北祭」の準備に取り組んでいることと思います。高校時代の思い出は一生の宝です。学習はもちろん、部活動や生徒会活動、文化祭やクラスマッチなど何事にも精一杯に取り組み、充実した日々を過ごし自己を成長させてください。

さて、3年生にとって6月はターニングポイントとなる特別な一か月です。入試関係ではAO入試のエントリーが、就職関係では公務員試験の申し込みが始まります。民間企業の求人票公開も翌月に控えています。各大学の募集要項も出始め、推薦入試や一般入試を視野に入れ「受験の天王山」とも言われる夏休みに向けて、受験モードに切り替えていく必要があります。特に、今までは部活動があつて「家ではほとんど勉強できなかった人」や授業は一応理解していたが、復習をしていなかったの「あまり成績が伸びていない人」は、気持ちを切り替え第一志望校への現役合格を目指して今こそスタートをきる時です。また、1・2年生も定期考査Ⅰに対する取り組みと結果を振り返り、自己の学習習慣や教科・科目毎の弱点を分析して、次の考査(6/25～定期考査Ⅱ)や模擬試験(1,2年 7/3 進研模試, 3年 6/29 進研記述模試)に備えてください。

### ○進路指針が発行されました

進学や就職など、進路決定までの流れや受験全般、就職・公務員試験に関する情報、各種データや卒業生の合格体験記などを掲載した「進路指針」が発行されました。よく読んで様々な手続きや心構えを知るとともに進路選択、受験方法選択の一助としてください。なお、資料の卒業生の合否状況からは受験や就職の厳しさが、合格体験記からは授業の大切さや1日も早く本気の取り組みを開始することの大切さがわかります。高校3年間の過ごし方次第で自己の将来が大きく変わります。進路を切り開いていった卒業生の取り組みを参考としてください。

### ○学力を伸ばす ≡ 苦手をなくす ～ 毎日の授業が受験勉強です ～

3年生はもちろん、1・2年生においてもこの時期に学習習慣の見直しと教科毎の弱点の把握と克服を行うことが大切です。一年の中で一番成績変動が大きいのは秋ですが、それは夏の過ごし方によるものです。9月まで3か月、そして成績の向上が実感できるまでにかかる期間が3か月。湖北祭の後は切り替えをしっかりとし、学習に専念してください。過日行われた「スタディサポート」の結果を確認し、自分は何の教科が、あるいはどの分野が理解できていないのかを把握して、今のうちにフォローしておきましょう。3年生は、夏までに1・2年次で習う教科書レベルの基本的な知識の定着が目標となります。今日は何をどれくらい勉強するのか、夏までに偏差値をいくつ上げるのかというように具体的に目標を設定し、文章に表すなどして目標を先生や友達と共有してください。



「ベネッセ マナビジョン」にアクセスできるQRコードです。

IDは模試などの結果に表示されています。パスワードは、個人で設定します。

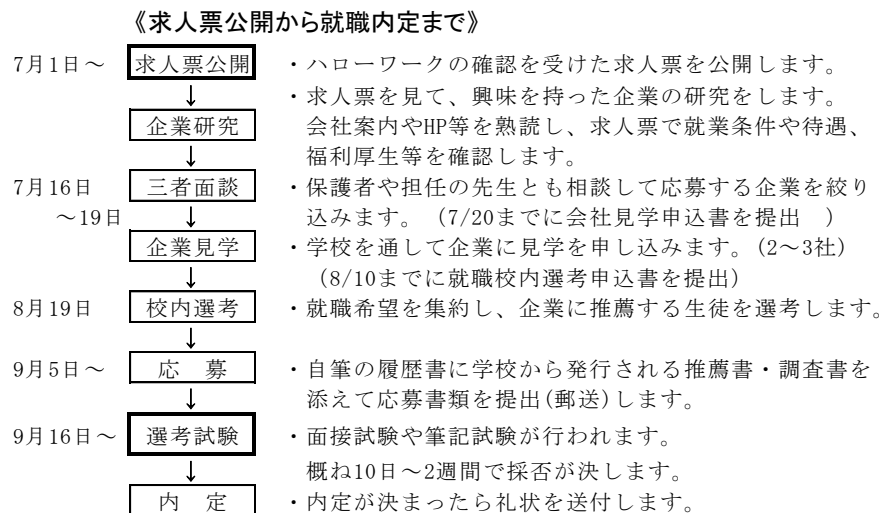
注) データ通信料がかかります。

現役生の場合、願書に添付する「調査書」には3学年の成績として前期(9月末日まで)のものを記載します(出願の早いAO入試や就職試験では7月末日までの「仮評定」となります)。前期に行われる4回の考査(課題考査2回、定期考査2回)のうち、すでに2回が終わりました。就職や推薦入試のためにも評定平均値はなるべく良くしておきたいものです。

## 【就職希望者へ】 ～ 7月1日 求人票公開 ～

県内の景気は高水準で横ばいとなっており、「穏やかに回復」している。31年3月高校卒業者の就職内定率は99.8%と、昨年の99.4%を上回り高水準となっています。しかし、職種を見てみると、製造や運輸の業種の求人数が多く、高校新卒者の希望の多い事務・販売の求人はそれほど多くありません。希望する業種・職種など十分に検討し、求人票の公開に備えてください。今後の流れとしては、公開された求人票を見て企業研究を行い、会社見学(2～3社、応募企業の決定、校内選考を経て応募書類を発送し(9/5到着)、入社試験(9/16以降)の受験となります。11月にピークを迎える大学等の推薦入試と比べてもスタートが早く、内定後の辞退も認められないため、研究不足や思い込みによるミスマッチのない的確な選択をして、自分に合った企業や仕事内容を見極めることが必要です。ハローワークのジョブサポーターや就職指導担当先生の話聞き、求人票の見方にも慣れておくとよいでしょう。

### ○就職内定までのスケジュール



### 《求人傾向と採用試験の状況》

景気の回復を受けて、求人数は増加傾向にあり、求人の出足も早くなっています。しかし希望者が多い事務職や販売職の求人は県内では依然として少なく、厳しい状況に変わりはありません。また、比較的高度な知識・技能を要する仕事内容が増えており、採用時に求められる能力や基準が高くなっています。

面接の他に、SPI等の適性検査や基礎学力検査、一般常識検査、作文などを課す企業が増えています。コミュニケーション能力や一定の学力が求められる傾向が強まり、2次、3次と面接を重ねたり、結果が出るまでの期間が長くなったりする傾向にあります。

### ○面接試験で問われるものは

面接試験で見られるのは、その人のコミュニケーション能力や協調性、基本的な生活態度であり、学力試験や適性検査では知ることのできない人柄や意欲、今後の可能性といった面が評価されます。企業にとって社員の採用は大きな投資であり、いかに有為な人材を採用できるかどうかには社運がかかっているわけです。皆さんは人を見るプロの面接を受けるわけですから、あわてて準備をしても満足な対策ができるものではありません。言葉遣いや身だしなみ、マナーなどは普段から気をつけておきたいものです。また、志望理由とともに高校生活中で頑張ったことや感動したこともしばしば質問されています。学習はもちろん各種検定試験にも積極的に挑戦し、部活動や文化祭、ボランティア活動などにも真剣に取り組んで“引き出し”を多くしておいてください。面接試験は自分をアピールするチャンスです。練習を繰り返し行い、面接官に良い印象を与えるとともに、質問に対しては自分の言葉で明るくハキハキと答えられるようにしておくとよいでしょう。

### 《面接試験での質問例》

- ・当社を志望した理由は何ですか。  
→入社への意欲や会社の業務内容に対する関心を示すことが大切です。
- ・最近気になったニュースがあればあげてください。  
→気になっている理由を明確に伝えましょう。また、新聞を読む習慣を身につけ、日頃から社会の動きに注意を払うようにしてください。
- ・高校生活で何を得ましたか。  
→部活動や文化祭などが定番です。面接官が納得できるような具体的で説得力のある答えを用意しておきましょう。
- ・あなたの長所を教えてください。  
→その会社、職種との相性や適性の確認です。自己PRのチャンスですから、自信を持って答えましょう。

※ 高校生の就職活動には、生徒を守り、採用・選考の公平性を保つために様々な取り決めがあります。ハローワークの確認を受けた求人申込に対してのみ学校推薦(就職斡旋)をする、9月中は一人1社のみ推薦するなどです。(10月1日以降は一人2社まで応募・推薦可。ただし、就職面接会においては2社以上の応募可。)